

名古屋大学と岩倉市における共同研究結果について

- 1 研究課題 岩倉市における生活習慣病の発症予防に関する研究
- 2 研究機関 名古屋大学大学院医学系研究科国際保健医療学・公衆衛生教室
- 3 研究期間 令和元年10月4日～令和4年3月31日まで

4 目的

岩倉市の国保データベース（KDB）システム内の健康診査・医療受診状況・要介護認定等の各種データを利活用して、岩倉市民における生活習慣病の危険因子を明らかにするとともに、その対策を検討し保健指導の充実を図ることで健康寿命の延伸に寄与することを目的とする。

5 研究結果のまとめ

健診結果と将来の心血管疾患発症危険度との関連性を分析したところ、当該疾患の発症率は、正常な血糖値の人との比較で約2倍、また、Ⅱ度以上高血圧（収縮期160mmHg以上かつ、または拡張期100mmHg以上）の人の発症率は、同比較で約2倍となることがわかった。この結果から、岩倉市民においても高血糖や高血圧の人は、正常値の人に比べ、心筋梗塞及び脳卒中の発症率が高い結果となっていることが分かった。

また、高血圧症患者の疾患と治療に対する認識のインタビューでは、高血圧症に対して、危険性を認識していない人や治療に対する抵抗などを感じている人がいることが分かった。

6 今後の展開

健診結果と将来の心血管疾患発症危険度との関連性から、高血圧などの症状によるリスクが、他人事ではなく身近な問題として起きていることを具体的な数値を掲げて広く市民に周知し、年に一度の特定健診の受診につなげるとともに、重症化予防への行動変容につなげる。

また、市民インタビューで判った血圧等に対する市民意識を踏まえ、受診勧奨通知に活用していく。

（具体的な取組）

- ・高血圧予防に特化した予防教室（健幸チャレンジ教室）の実施
 - 令和4年12月1日 医師による講演会（高血圧の話）
 - 12月8日 あいち健康プラザ運動指導員による教室
 - 12月21日 管理栄養士、歯科衛生士による教室
- ・保健指導や受診勧奨等のチラシに「健康リスク」を踏まえたメッセージを掲載
- ・医師会と連携した生活習慣病等の重症化予防の取組
 - かかりつけ医等と情報共有及び助言・指導をもらい実施するため、医師からの「連絡票」の作成を依頼し、対象となった患者の情報提供を求める。